

教科（科目）	商業（原価計算）	単位数	3	学年（コース）	3学年（ビジネスコース）
使用教科書	実教出版『原価計算 新訂版』				
副教材等	実教出版「最新段階式簿記検定問題集全商1級原価計算」 実教出版「全商簿記実務検定模擬試験問題集1級原価計算」				

1 学習目標

製造業における原価計算及び会計処理に関する知識と技術を習得させ、原価の概念について理解させるとともに、原価計算から得られる情報を活用する能力と態度を育てる。

2 指導の重点

- ① 原価計算の基本的な考え方と計算方法及び記帳法を習得させ、原価についての理解を深める。
- ② 原価計算から得られる情報をビジネスの諸活動に活用する能力と態度を育てる。

3 学習計画

月	単元名	学習活動（指導内容）と方法	時間	評価方法
4	第1編 原価計算の基礎 第1章 原価と原価計算 第2章 原価計算のあらまし 第3章 工業簿記～製造業における簿記	・工業簿記と原価計算の関係を理解する。 ・原価の意味(製造原価・総原価)を理解する。	13	中間考査 課題提出
5	第2編 原価の費目別計算 第4章 材料費の計算と記帳 第5章 労務費の計算と記帳 第6章 経費の計算と記帳	・原価の3要素である材料、労務費、経費の分類とその内容、消費高の計算方法を理解する。 ・予定価格を用いた記帳法を習得する。	18	期末考査 課題提出
6	第3編 原価の部門別計算と製品別計算 第7章 個別原価計算 第8章 部門別個別原価計算	・個別原価計算のしくみを理解し、記帳法を習得する。 ・製造間接費の配賦について概要を理解し、実際配賦、予定配賦による記帳法を習得する。	28	中間考査 課題提出
9	第9章 総合原価計算 第10章 工程別総合原価計算 第11章 総合原価計算における減損・仕損じなどの!	・総合原価計算の種類を理解し、記帳法を習得する。 ・月末仕掛品の計算方法を理解する。 ・工程別総合原価計算の意味と目的、記帳法を習得する。	28	期末考査 課題提出
11	第4編 製品の完成・販売と決算 第12章 製品の完成と販売 第13章 決算と本社・工場間の取引	・製品の完成と販売に伴う手続きと記帳方法を理解する。 ・月次決算の意味と年次決算との関連について理解する。 ・工場会計の独立と、その記帳方法について理解する。	28	期末考査 課題提出
12	第5編 標準原価計算の基礎 第14章 標準原価計算（その1） 第15章 標準原価計算（その2）	・標準原価計算の意義と特色、全体的な流れを理解する。 ・完成品と仕掛品の標準原価による計算方法を理解する。 ・原価差異の計算とその分析方法を理解する。	9	全商簿記検定1級（原価計算） 学年末考査 課題提出
1	第6編 直接原価計算の基礎 第16章 直接原価計算（その1） 第17章 直接原価計算（その2）	・直接原価計算の意義と特色を理解する。 ・直接原価計算による損益計算書の組み立て方を理解する。 ・損益分岐図表により、売上高・原価・利益の関係を理解する。		

計96時間(55分授業)

4 課題・提出物

- ・各学期ごとの定期考査と課題提出があります。
- ・各種検定の受検をします。

5 評価規準と評価方法

評価は次の観点から行います。

関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
製造業における原価計算と工業簿記に関心を持ち、その知識と技術の習得を目指して意欲的に取り組むとともに、ビジネスの諸活動を計数的に把握する実践的な態度が身についている。	各種の原価計算の方法や記帳法、原価情報の活用などについて、なぜ、そのように行うのかなど自ら思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、創意工夫する能力が身についている。	製造業における原価計算と工業簿記に関する基礎的・基本的な技術を身につけ、ビジネスの諸活動を計数的に把握し、的確に処理するとともに、その成果を適切に表現できる。	原価計算に関する基礎的・基本的な知識を身につけ、原価計算の基本的な仕組み及び工業簿記の基本構造について理解している。

以上の観点をふまえ、

- ・学習に対する意欲や態度、思考力や表現力
- ・検定に向けての取り組みや出欠状況
- ・定期考査や課題提出、および締め切りの厳守などを総合的に評価する。

6 担当者からの一言

受験予定の検定試験は以下の通りです。
 全国商業高等学校協会主催 簿記実務検定（原価計算）（1月）
 日本商工会議所主催 簿記実務検定2級（6月、11月、2月）